

SUPER 11 ⑦ 語彙に強くなる特別ゼミ

【1】接頭辞問題(1～2)

(1) 接頭辞 sur- の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 上に・越えて ② 外へ ③ 共に ④ 中へ

surface・surpass・survive・surplus・surcharge

(2) 接頭辞 under- の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 下に ② 前へ ③ 後ろへ ④ 共に

underground・underwater・underestimate・underdeveloped・underpaid

【2】語尾・品詞問題(3～4)

(3) -ic で終わる語の品詞は何か。

例:basic, historic, dramatic, economic, scientific

(4) -dom で終わる語の品詞は何か。

例:freedom, kingdom, wisdom, boredom, martyrdom

【3】語源問題(5～9)

(5) 語源 spec / spect の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 見る ② 聞く ③ 運ぶ ④ 書く

inspect・respect・expect・aspect・prospect

(6) 語源 scrib / script の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 書く ② 運ぶ ③ 行く ④ 見る

describe・prescribe・subscribe・manuscript・script

(7) 語源 man(u) の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 手 ② 足 ③ 頭 ④ 心

manual・manufacture・manuscript・manipulate・manage

(8) 語源 cap / cept / cip の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 取る ② 曲げる ③ 送る ④ 保つ

accept・receive・except・capture・participate

(9) 語源 labor の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 働く ② 学ぶ ③ 話す ④ 遊ぶ

labor・laborer・laborious・collaborate・elaborate

【4】多義語・品詞問題(10～11)

(10) still の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

still()()()()

(11) home の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

home()()

解答

(1) ① 上に・越えて (2) ① 下に (3) 形容詞 (4) 名詞 (5) ① 見る (6) ① 書く
(7) ① 手 (8) ① 取る (9) ① 働く (10) 副詞・形容詞・接続詞・動詞 (11) 名詞・副詞

解答解説

(1) sur- : ① 上に・越えて

解説:sur- は「上に」「越えて」を表す接頭辞。

surface[sá:r fis]「表面」= sur(上に) + face(面) → 上にある面 / surpass

[sərpæ:s]「上回る」= sur(越えて) + pass(通る) → 相手を越えて進む / survive

[sərváiv]「生き残る」= sur(越えて) + vive(生きる) → 困難を越えて生きる / surplus

[sá:rplʌs]「余剰・余分な」= sur(越えて) + plus(より多い) → 必要量を越えて多い /

surcharge[sá:rtʃà:rdʒ]「追加料金」= sur(上に) + charge(料金) → 通常料金の上に加える料金。語源の中心は「上に・越えて」である。

(2) under- : ① 下に

解説:under- は「下に」「下の」や「不足して」を表す接頭辞。

underground[ʌndəgràund]「地下の・地下で」= under(下に) + ground(地面) → 地面の下に / underwater[ʌndəwó:tər]「水中の」= under(下に) + water(水) → 水の下に / underestimate[ʌndəéstəməit]

「過小評価する」= under(不足して) + estimate(評価する) → 実際より低く評価する / underdeveloped[ʌndədivéləpt]

「発達不十分な」= under(十分でなく) + developed(発達した) → 十分に発達していない / underpaid[ʌndəpéid]

「給料が不十分な」= under(不足して) + paid(支払われた) → 十分な給料を支払われていない。語源の中心は「下に・不足して」である。

(3) -ic : 形容詞

解説:-ic は「～の」「～に関する」「～の性質をもつ」を表す形容詞語尾。

basic[béisik]「基本的な」/ historic

[histó:rik]「歴史上重要な」/ dramatic

[drəmətik]「劇的な」/ economic

[èkənámik]「経済の」/ scientific

[sàientífik]「科学的な」。
-ic は名詞などについて形容詞を作る代表的な語尾であり、語尾を見て品詞を判断する重要な手がかりとなる。

(4) -dom : 名詞

解説:-dom は「状態」「身分」「領域」などを表す名詞語尾。

freedom[frí:dəm]「自由」= free(自由な) + dom → 自由な状態 / kingdom

[kíŋdəm]「王国」= king(王) + dom → 王が支配する領域 / wisdom[wízdəm]「知恵」= wise(賢い) + dom → 賢い状態・性質

/ boredom[bó:rdəm]「退屈」= bored(退屈した) + dom → 退屈した状態 /

martyrdom[má:rtərdəm]「殉教・殉教者の地位」= martyr(殉教者) + dom。-dom は状態や領域などを表す名詞を作る語尾である。

(5) spec / spect : ① 見る

解説:spec / spect は see「見る」を表す語源。

inspect[inspékt]「検査する」= in(中を) + spect(見る) → 中をよく見る / respect

[rispékt]「尊敬する」= re(振り返って) + spect(見る) → 振り返って見るほど重視する / expect[ikspékt]

「予期する」= ex(外を・前方を) + spect(見る) → 前方を見て待つ / aspect[æspekt]

「側面・様相」= ad(～へ) + spect(見る) → 見えている面 / prospect

[práspekt]「見込み・展望」= pro(前へ) + spect(見る) → 前を見る → 将来の見込み。すべて「見る」のイメージで説明できる。

(6) scrib / script : ① 書く

解説:scrib / script は write「書く」を表す語源。

describe[diskráib]「描写する」= de(十分に) + scribe(書く)→ 詳しく書く /
prescribe[priskráib]「処方する・規定する」
= pre(前もって) + scribe(書く)→ 前もって
書いて指示する / subscribe[səbskráib]
「購読する・署名する」= sub(下に) + scribe
(書く)→ 下に名前を書く / manuscript
[mænjuskript]「原稿・写本」= manu(手) +
script(書く)→ 手で書かれたもの / script
[skript]「台本・原稿」= script(書く)→ 書か
れたもの。語源の中心は「書く」である。

(7)man(u) :① 手

解説:man(u) は hand「手」を表す語源。
manual[mænjuəl]「手を使う・手作業の」=
manu(手)→ 手で行う / manufacture
[mænjufæktʃər]「製造する」= manu(手)
+ fact(作る)→ 手で作る / manuscript
[mænjuskript]「原稿・写本」= manu(手) +
script(書く)→ 手で書かれたもの /
manipulate[mənípjulèit]「操作する」=
manu(手)→ 手で扱う・巧みに操る /
manage[mænidʒ]「管理する・何とかする」=
もともと「手で扱う」というイメージから、物事をう
まく扱う。語源の中心は「手・手で扱う」である。

(8)cap / cept / cip :① 取る

解説:cap / cept / cip は take「取る・つか
む」を表す語源。
accept[æksépt]「受け入れる」= ac(～へ)
+ cept(取る)→ 自分の方へ取る /
receive[rɪsɪ:v]「受け取る」= re(戻って) +
ceive(取る)→ 自分の方へ受け取る /
except[iksépt]「～を除いて」= ex(外へ) +
cept(取る)→ 外へ取り出す → 除外する /
capture[kæptʃər]「捕らえる」= cap(取る)
→ つかまえて取る / participate
[pɑ:rtɪsəpèit]「参加する」= part(部分) +
cip(取る)→ 一部分を取る → 仲間として加わ
る。語源の中心は「取る・つかむ」である。

(9)labor :① 働く

解説:labor は work「働く・労働する」を表す
語源。

labor[léibər]「労働・働く」= 働くこと /
laborer[léibərər]「労働者」= labor(働く)
+ er(人)→ 働く人 / laborious
[ləbɔ:riəs]「骨の折れる」= labor(労働)→
多くの労力を必要とする / collaborate
[kələbərəit]「協力する」= col(共に) +
labor(働く)→ 共に働く / elaborate
[iləbərəit]「精巧に作り上げる」= e(外へ) +
labor(働く)→ 労力をかけて作り上げる。語源
の中心は「働く・労力をかける」である。

(10)still :副詞・形容詞・接続詞・動詞

解説:still は副詞・形容詞・接続詞・動詞として
使われる重要語である。

He still lives in Kobe.(彼は今でも神戸に住
んでいる)では副詞で「まだ・今でも」。The
night was still.(夜は静かだった)では形容詞
で「静かな・動かない」。It was raining; still,
we went out.(雨が降っていた。それでも私た
ちは出かけた)では接続詞的に「それでも」。The
wind stilled.(風が静まった)では動詞で「静ま
る」。still は「動かない」という基本イメージか
ら、「静かな」「まだ同じ状態が続いている」などの
意味へ広がっている。

(11)home :名詞・副詞

解説:home は名詞と副詞として使われる重要
語である。

This is my home.(ここが私の家です)では名
詞で「家・家庭」。I went home early.(私は早
く家に帰った)では副詞で「家へ」。副詞の
home は go home, come home, get
home のように前置詞 to を伴わないことが重
要である。go to my home ではなく、通常 go
home とするため、文法・品詞問題でもよく問わ
れる。